

令和5年度 第2回 柏市上下水道事業運営審議会

1 開催日時

令和5年11月1日(水) 13時00分～13時50分

2 開催場所

柏市上下水道局庁舎 4階 401・402会議室
柏市千代田1丁目2番32号

3 出席者

(1) 委員

落合委員, 堀田委員, 佐藤委員, 谷委員, 秋元委員, 小暮委員, 廣瀬委員,
秋田委員, 白石委員, 新田委員

(2) 事務局

成嶋上下水道事業管理者, 内田理事, 須藤総務課長, 野口経営企画課長,
小池料金課長, 小池給排水課長, 新井水道工務課長, 松崎下水道工務課長,
深山施設管理課長 他

4 議題

(1) 令和4年度水道事業及び下水道事業決算について

5 報告事項

(1) 9月20日に発生した集中豪雨による浸水被害について

(2) 南増尾四丁目周辺地域で発生した停電について

(3) 10月25日に発生した, 停電に伴う第六水源地給水区域での水道の水
圧低下について

(4) 令和5年度(第16回)国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)受賞に
ついて

6 議事

議題(1) 令和4年度水道事業及び下水道事業決算について

質疑(堀田委員), 回答(事務局)

Q. 水道事業の収益的収支について, 営業収益が約3億円減った理由として,
組織統合に伴い下水道料金の徴収がなくなったと説明があった。そうであれ

ば、下水道の支出は3億円減るのではないかと思うが、1億1千万円増えている。もし組織統合が無ければ、支出が4億円に増えていたということか。

A. 下水道事業会計の業務費の委託料は3億円減っているが、流域下水道維持管理費負担金がそれ以上に増えたため、結果として下水道事業会計の支出が増えている。

質疑（佐藤委員）、回答（事務局）

Q. 補填財源の金額は、水道は約81億円、下水道は約38億円程度。収支の不足額を見ると、水道は補填財源の四分の一程度だが、下水道は補填財源の額に近い。このことについて確認したい。

A. 水道料金は、資産維持費を見込んで積算している。日本水道協会の積算要領の中で、これから減価償却を行う資産の3%程度を資産維持費として盛り込むことになっているが、柏市の場合は1.5%程度としている。これは利益の額から逆算すると1.5%となるためである。下水道は資産維持費を見込んで料金設定をしている自治体が少ないため、補填財源としては水道の方が余裕がある。

質疑（落合会長）、回答（事務局）

Q. 令和4年度の庁舎再整備費用は水道会計から出したとのことだが、令和5年度は庁舎再整備の予定はなく、代わりに老朽施設の更新が増えていく見通しという認識で良いか。

A. お見込みの通りで、庁舎再整備についてはこれで終わりとなり、今後は管や電気設備などの老朽化対策が中心となっていく予定である。

報告事項（1）9月20日に発生した集中豪雨による浸水被害について

質疑（廣瀬委員）、回答（事務局）

Q. 道路が冠水したとのことだが、これは合流区域の改善事業を行った場所なのか。

A. 貯留場も含めて合流改善を行ってきた地域で災害が起きた。災害が起きた地域の近くを通っている雨水管（シールド管）も合流改善として、豊四季台団地の分流雨水管を合流管から分離させるために入れている管である。分流化も含めた浸水対策を行ってきた地域である。

Q. 人孔が破損している写真を見たが、県の流域下水道でも6月の台風のときに人孔破損の事故が起きた。今回の大雨では大丈夫だったが、柏市の合流区

域は約190ヘクタール程度あると思う。そのうち分流化できているのはどれくらいなのか。県としても、大雨時の溢水は問題となっているので、柏市の合流改善を今後是非進めてもらいたい。

- A. 分流化の汚水幹線を入れた面積で言うと21%程度である。今回の雨水管については、分流区域の雨水管を分離したものであるため、合流区域の190ヘクタールには含まれていない。

質疑（落合会長）、回答（事務局）

Q. 今回、人孔が吹いてしまったのは雨水管か合流管か。また、管路の再生のを行っているかと思うが、それは汚水管なのか。

- A. 人孔が吹いたのは合流管である。管路の再生については分水された後の雨水管であるが、その上流は合流管となっている。

報告事項 (2) 南増尾四丁目周辺地域で発生した停電について

(3) 10月25日に発生した、停電に伴う第六水源地給水区域での水道の水圧低下について

質疑（廣瀬委員）、回答（事務局）

Q. 資料5の配水ポンプの不具合について、非常用発電に切り替わったようだが、点検は行っているのか。

- A. 点検は行っている。今回は、制御盤に制御不能というメッセージが出たため、自動から手動に切り替えた。濁らないように水圧をゆっくり少しずつ上げていき、その後、水圧をもとの状態に戻した。

質疑（落合会長）、回答（事務局）

Q. 資料3について、請負業者の人為的ミスで停電が起きたということなのか。再発防止策が色々と書かれているが、この業者については、ペナルティなどがあるのか。

- A. 人為的ミスである。今後、上下水道局の入札基準等選定委員会で指名停止等の措置を含め協議していく予定である。

報告事項 (4) 令和5年度（第16回）国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）受賞について

質疑無し

7 傍聴

傍聴者なし

8 施設見学

審議会閉会后，手賀沼終末処理場（我孫子市）へ移動し，汚水処理の過程について説明が行われ，施設の見学を行った。

